人 文 会 、 ニュース

人文会ことしの課題 人文基本図書目録[宗教・社会] 新刊図書目録 売行良好書[心理・評論] 好評発売中

4年集のみが収める新資料! 淣 勝部真長 四六判・予二〇〇〇円 人000分 I

江戸時代社会経済史。た豊富な資料を駆使して綴るた豊富な資料を駆使して綴る海舟にしてはじめて蒐集しえ海舟が精魂を傾けて編纂し、 校訂・解説 大

勇次郎 別全 巻21 1 巻

ラー

ヌ

、杉富士雄訳 二000円

振替・東京175253

古典

İ 勁草書房 東京文京区後楽2

江徳 青守本山 R H 五正 夫彦 解説 ローウィ 道 海舟全集 夫 著 国家の起源を考える場合の の観察をまとめたもので、 治的結合の諸様態について りうるような未開民族の政国家成立の準備的条件とな よる解説が、 民族学の立場から江守氏に 政治学の立場から徳本氏、 基本的文献である。 6 四六判/一〇〇〇円

東京都文京区本郷1-25-21社会思想社

理解を助ける

大森曹

花園大学教授/鉄舟会師家

現代で最も簡にして要を得た禅入門 至誠、純情、

振替東京二四八六一東京外神田二 — 一八 春秋社

101

禅

七増 五〇円 円

全7巻・完結

剣

禅の妙境に到り得た12人の剣客列伝

岡鉄 禅魂の英傑鉄舟の全て 舟 七五 五 の 円 七増 五〇円

森谷

巌訳

松岡洋子訳 梶谷善久訳

東京神田小川町2 筑摩書房

7

松岡洋子訳 松岡洋子訳 松岡洋子訳 松岡洋子訳

1 7 0 0 円 1 3 0 0 円 1 3 0 0 円 1 6 0 円 1400円

今日の中国で 革命はつづく

禅

書は人なりの原点を大胆率直に解明 九0 2 0 円

誠信書房

第9回 日本翻訳出版文化賞 母の精神史解明に重要な作品。文芸批評の渡流。さらにテー

さらにテー

日本翻訳出版文化賞 受賞

十九世紀後半におけるフランス境説ミの形成をはらんだ本書は、

力強く、気まぐれで起伏の多い ピレネ山脈そのものの姿のよう

奇怪で変化に富み、奇妙で

生気あふれる言葉。テーヌの〝環

理

〒振替・東京72442番 現代思潮社10東京都文京区小目向二語 現代思潮社

東京都文京区大塚3の20の6

E·H·エリクソン/小此木符吾訳編 終りなき現代史 C・M・トンプソン/大羽嚢・沢田丞司 河合伊六・稲田準子訳 ・バラード/N・E・ミラー 間関係の精神分析 同 の課題 ¥3800 ¥ 2 0 0 0 ¥3800

鋭く、 人間の問題に迫る

深く、

洞 E・H・エリクソン/たたら幹八郎訳 察 ع ¥2000 任

人文会ことしの課題

人文会が結成されてから満5年になります。人文図書の積極的な普及という目的のために会員各社力を併せてようやく成果があがりつつありますが、これも心ある書店の皆様方のご理解とご協力のたまものと厚く御礼申し上げます。

たまたま激動の年頭にあたり新聞之新聞社が、人文会の座談会を企画し、 元日の紙面に掲載されました。人文会の歴史をふまえて今後の展望を自由に 語り合ったものです。人文会を理解していただくために適当なものですので、 新聞之新聞社のご好意により、若干の字句の訂正、配列の変更を行なって、 この人文会ニュースに収録することにいたしました. 中平生

Ⅰ 人文会結成の前後――その必然性

司会 人文会という"組織"が作られたのは、どういったことからなんですか。

中平 人文会の"出生のあり方"が組織体としての会の今日を規定しているし、また同時にこんごの展望にもつながっているわけです。人文会の正式な発足は43年の12月で、昨年の暮で満5年を迎えました。設立後は、山根さんが書記として記録していらっしゃるので後でお話しいただくとして、設立の前史みたいなものをお話ししますと――

昭和43年というと業界には正味問題の大要がすでに生まれ、また社会では、大学紛争の嵐があり、業界内外ともにいろいろな問題が起きつつありました。その少し前頃から東販さんの方で人文書関係に少し力を入れていこうという動きがあったんです。というのは、返品問題の解決策の一つとして、積極的な販売、販売の組織化ということがいわれてきました。法経書、工学書などはありましたが、これらが刺激となって、人文図書も組織的な販売方法を、ということがあったんでしょうね。当時勁草書房にいた別所さんや相田さんあたりから動きがあって、東販さんの企画で人文図書の「展示販売」をやったんです。何回位やりましたかね。

相田 3回位です. 41年春頃でしたね.

中平 われわれとしては棚の確保ということが人文書の積極的な販売につながるし、書店さんとしても、どれを扱っていいのか分からないが、とにかく、読者の人文書への要求が高まってきている。そこで、この展示販売を3回位や

ったあとで、もっと組織化を進めた方が有効だ、ということで、相田さん、別所さんと私の3人が発起人となって、43年12月に設立総会を開いて人文会が正式に発足したわけです。設立総会に集まったのは15社だったと思います。

相田 41年頃の人文図書の小売店の"待遇"というのは、棚がなかったんです.一般文芸書の隣りあたりがそんな感じでしたが、表示も何もない.しかし人文図書でも各社何点かずつは売れるものを持っていますから、棚の確保と、書店さんに人文書も売れるというイメージを持ってもらおうということから、東販さんとタイアップしてセット販売を始めたわけです.これが人文会の"前身"といえます.これを2年位やっているうち、これを会に組織して、展示販売も東販さんだけでなく、他の取次さんともお付き合い願おうじゃないか、という機運が出てきたわけです.

中平 会則はわりに早くできたのですが、その基本は前身がセット販売ですから、常に販売が前提となっており、"人文図書のより積極的な販売"を目的とした会であることを強く打ち出しています。「秀れた人文図書の積極的な販売」これが会の趣旨となっています。

人文書というものは、業界では"まともな籍"がなかったわけで一般書として取り扱われていた。そこでいろいろな会合に出るたびに"人文図書は文化の基盤である"ということを力説して人文図書の棚の強化を図ってきたわけです。展示販売もオープンにして東販さんだけでなく、日販さん、大阪屋さんにも加わってもらい今日におよんでいます。この3社だけが人文会会員全社の取引があったんです。それからしばらくして鈴木書店さんでご意向があり、当時吉川弘文館と平凡社が取引がなかったのですが、取引をするようになり、現在この4社が展示販売をやってます。

司会 展示会の動員書店数はどの位あるんですか.

相田 東販さんで 150 から 160, 日販さん 120, 大阪屋さん 50, 鈴木書店さん 80 といったところです.

山根 ぼくは人文会という"組織"は自然発生的に生まれたのではなく、いるいろな要因から必然的にできたものだと思うんです。その要因はいろいろあるが、例えば読者側からいうと、戦後進学率が高くなり、学生読者層の絶対数が増えてきている。書店側からいうと百科・全集といった外売商品がある時期壁にぶつかり、店売の拡充、フロアの大型化への動きがあった。こうした受入側の状況があり、われわれ版元も人文書は生命が長いから、年を追うごとに各社点数が増えてくる。この両者の条件がうまく合致し、取次もそれに対して専

門的な手を打たざるを得ないし、その先取りが東販さんの展示販売という形で表れてきたわけです。こうした業界の状況があって、その中で先刻のお話のような働きかけが出版社から出てきたわけです。人文図書は書店での"位置"がはっきりしていなかった。それを明確にする狙いもあったし、出版社も販売の統一的な働きかけをしようと会ができたわけですが、設立後すぐ必要なことは"読者の開発"という仕事であり、その一環として「朝日ジャーナル」に連合広告をうったんです。あれは結成後、わりと早くからやりましたね。

中平 そう、結成後半年位からでした。初めて会として宣伝活動をやったのは「朝日ジャーナル」の"秀れた人文図書"という見開き連合広告でした。44年の6月から年5回のペースで47年まで続けました。そのあと1年たって45年9月に四季報創刊号を出したというわけです。弘報関係ではあと目録ですね。

山根 ちょうど「朝日ジャーナル」も伸びてきた時でタイミングも良く,読者の評判が良かっただけでなく,業界でも相当類似の広告がはやりました.しかしこれだけではまだ足りないということで,四季報や目録もやるようになったわけですが,考えてみると人文会は対取次,対書店という古い出版業者の小手先の営業という発想より,もっと新しい読者の開発組織という発想で出発しているといえると思うんです.

II 多彩な細織活動を展開する

中平 会のいろいろな事業は、各委員会を設置してこれに当たっていますが、一番最初にできたのが四季報委員会で、それと同時位に目録委員会もできています。読者を開発して組織し、それを書店に結びつけるという目的でこの2委員会が設置されたのですが、四季報は梓会の「出版ダイジェスト」紙を特集号として買い切る形で続けています。

関 委員会ができたのは 45 年 9 月でしたが、初めは別所さんが委員長でした。私の社は会結成の 1 年後、16 番目に入会しまして、委員会の方も別所さんが基礎的なものをされたあと、後任として委員長を引き受けたわけです。あくまで会と読者のかけ橋ということを目的に、四季報を活用していこうということで活動を始め、創刊号はフロントを 2 社で受け持つということで青木さんと私のところでフロント 1 ページを埋めました。これは人文書の読者対象に関連した先生方に出稿をお願いしました。2 一 4 面は各社の新刊をジャンル別に分けて、書評というような形で掲載しました。それから広告のスペースは、3 カ月間の新刊のレビュー欄を設けて割り付けましたし、また展示販売などを特集

— 3 **—**

号の中でアピールしております.

司会 「出版ダイジェスト」を特集号として使う場合, どの位の部数を作るんですか.

中平 創刊号は10万部刷りました.これを各社の読者名簿を持ち寄りまして、読者にダイレクトで送ったのですが、これが功を奏しましてね.アンケート調査も同封したのですが13,000もの回答がありました.評判も良く「ダイジェスト」も株が上がり、読者の定着がみられたということです.それからですね、「ダイジェスト」がいろいろな会の特集をやるようになったのは.

前田 四季報創刊号を10万部刷って、そのうち7-8万を読者に送った中で、1万以上も回答がきたのは大変画期的なことだと思います。ちょっとないんじゃないですか、この数字は、読者の反応が大きかったといえますね。

相田 ただ郵送料が高いんで弱ってる. (笑い)

中平 「朝日ジャーナル」の広告で読者にほしい本を募りましたね.

山根 ええ、各社で本を提供して抽選で応募者に贈呈しました.

中平 その名簿がたまって、たしか3万位になったと思います.

山根 相当集まりましたが、反面、学生が多いので移動が激しいんです。この名簿と各社のそれを合わせて四季報をダイレクトしまして、その中に同封したアンケートが1万なにがし返ってきたわけで、これが会の"基礎"ですね。これを大事に育てて行くわけですが、読者がどこの書店で買っているかも分かりますから、"特約店"にもつながってきます。

関創刊号発送の時かなりダブったのがありましたのでこれを整理し、2号から部数も4万にしました。その内容は読者のダイレクト用に2万部、あと2万部は展示書店に各50部位ずつ取次を通して配布しました。その後、需要も増えたので第4号から5,000部増やして4万5,000部とし、2万5,000部を書店さんに配布しています。

司会 目録委員会というのは現在もあるんですか.

中平 「人文図書目録」作製の企画はたてたのですが、結局、東販さんに実務を持ち込んで人文図書目録刊行会を結成したわけです。その準備を人文会がやり、あとの実務は刊行会に任せ、われわれは原稿の提供と目録の普及に当たることになり、会の目録委員会は所期の目的を果したので現在はありません。目録は47年に第1号を出して、いま3号にとりかかっている最中ですが、2号から「人文図書」と「歴史図書」の2冊に分けまして、歴史の方は歴史書懇話会と提携して編集に当たることになり、これも東販さんの協力で目録刊行会を

つくって実務を任せることになりました.

山根 目録の需要はまだまだあると思うんですが、あまり部数を増やすと今度は経費負担が大きくなり、この辺の兼い合いがむずかしいでしょうね.

相田 人文図書というのは、文字通り"多品種少量販売"のものですから、 点数はいっぱいあるんです。ただ今までの目録の場合は、経費の問題もあって、 ある程度各社で抑えていたのが、評判がいいんで、だんだんと点数を加えてき て、年間新刊以上に増えてきているんです。

山根 例えば、「社会学」は日本で学問として確立されたのは、戦後の新しいジャンルの学問だと思いますが、人文図書の場合、特に最近の学問の傾向が隣接分野と関連づけて考えていかざるを得ないような学問の前進があり、読者の要請も、より厳しく、より高度になってきている。そういう読者が増加する傾向にあるのだから目録の需要は増大するし、発行部数も考えなくちゃいけませんね。

中平 いまのお話の通り最近の学問は入り組んできてますから、目録の分類がむずかしくなっていますが、哲学・思想、宗教、心理、歴史、社会それに評論の分野を設け、この6分野で第1号を出し、2号は厚さの関係もあって歴史を分冊し、現在5分野で刊行してます。

山根 人文会では読者の組織、それから対書店への働きかけという点から、結成1年未満からいろいろな形で書店との懇談会、各地域の書店訪問を行ってきました。44年10月に大阪・京都など関西地区の書店を訪問して、販売研修会をやったのを始め、45年に名古屋、46年北九州、47年札幌、そして48年が岡山・広島と年1回、10月にやってきています。これ以外にも年3-4回、三省堂チェーン、弘栄堂チェーンなどと懇談会を開いてます。それから去年から東京を中心に近郊書店の展示状況をみて歩くことも始めました。

前田 以前は確か,「都内書店委員会」という名でした。年1回地方の書店 さんとは懇談会を持つので,それに合わせて近郊を含めた都内の書店さんと懇 談会を持とうということで設置されたんです.

関 第1回は三省堂チェーンとやったのでないかな.

前田 懇談会の主なテーマとしては"新刊配本が適切かどうか"ということですね.

相田 新刊と、常備の問題は常にありました.

山根 新刊問題というのは、返品を少なくしたいという狙いと、人文図書の場合、取次のコンピュータ配本が書店の大小だけで果して的確な配本ができる

か、という問題があり、書店の判断による新刊の委託申し込みを強く訴え、またデータ把握のため、売上げスリップを出版社に返してほしいとお願いしています。それから常備問題では"回転率"を考慮した適正常備はどうあるべきか、という点について書店さんの声を聞き、またわれわれ出版社の実情を説明するなど、懇談会の討論の内容は大きくみてこの二つになります。

最初に懇談会をやったのは「若芽会」ですね. 光陽館さんとか南天堂さんなど、中堅の書店さん 10 店と 44 年に如水会館でやりました.

中平 地方懇談会では書店さんとのコミュニケーションを深めています. これが人文会の地方研修会の特長の一つといえます. 1回に訪問する書店さんの数は少ないが、じっくりと回るんですよ.

鎌塚 地方書店との懇談を京都・大阪,名古屋,北九州,札幌,岡山・広島 と過去5回にわたって開きました。これまでの地方懇談会は、各委員会の方向 とか、活動状況のPRをやってきて、どちらかというと出版社側からの"一方 通行"だったのですが、今年の岡山・広島では、あらかじめ該当地域の読者人 に対して人文書の購入についてのアンケート調査を行いました. このうち 360 - 人位の回答がありましたが,われわれの一番知りたかったのは"読者が何を求 めているか"ということで、人文書の入手経路、情報入手の方法、入手期間、 同一書店で入手か否かなどについて質問しました。回答を集計してみると,購 入動機は「新聞をみて」というのが一番多かった. 広島と岡山で多少の差はあ るが,「取り寄せてもらう」が意外に多く, 入手までの期間は1―2週間, 郡 部では10日から1カ月かかっているようです. 「行きつけの店で買う | という 回答が3分の2位でこれは妥当だと思いますが、その理由として「届けてくれ るから」という点をあげている読者が多いんです.これは昨今の大型店に対応 する中小店の努力というか、対読者とのコミュニケーションを図られている結 果が、読者の方から現れた数字としてわれわれも非常に興味深くみましたし、 懇談会出席の書店さんもその点を評価しておりました.

関 展示販売委員会は昨年6月の総会で設置され、メンバーは紀伊國屋、勁草書房、筑摩書房、福村出版、有斐閣の5社が担当になっており、設立の趣旨は「販売における三者共通の話し合いを持つ」ということなんですが、会員各社が忙しいので委員会を設置して実務的なものを進めていこうということになったわけです。人文会としての第1回は販売活動の原点として展示販売を44年の5月にやりまして、8月に展示状況のアンケートをとったんです。参加書店は東販帖合店が155店、日販145店、大阪屋49店でしたが、このうち回答を

くれたのが東販 80, 日販 70, 大阪屋 17 で回答率 47.8% という好成績でした. 展示状況, 売行状況, 出品点数, 読者 P R 用目録の利用状況, 朝日ジャーナル 広告の効果などについて質問したのですが, 立川のオリオン書房さんは「表示が眼につきやすく読者も楽に本を探せるし, 店員も案内が簡単にできて非常に助かっている. 売上げカードを毎日整理して補充をきらさぬようにしている」, また広島のいずみ書店さんは「書籍の山の中に埋もれているものを掘り出して訴えるのは, 読者に対して非常に親切なことだ. 売り落しを防ぐために絶好なセットである」という回答をいただきました. われわれとしては展示書店, また読者のこうした声を求めて, 今日まで東販で13回, 日販, 大阪屋でそれぞれ10回の展示販売を行ってきたわけです.

第7回目でしたか、近郊書店との懇談会が機で、千葉のキディランドさんが「セット販売の効果が高いので、その中から売行き良好書を選んで平積み販売をやりたい」ということで、各社の"目玉"を注文してもらい平積み販売をやりました。展示販売はあくまで"人文図書の販売・普及"ということが目的でして、出品点数も340点位になりますが、書店さん、読者の認識も年々高まり、"定着化"の傾向をみせています。

中平 展示会への出品は基準があるんです。最小限の基本は均等に出品しますが、あとは良く売れる版元のものが多くなります。

相田 補充の冊数と補充率、この二つの順位から数値を出して出品冊数が決まるわけです。

中平 だから毎回変動があるということになりますが、それが書店さんには好意的に見られているんじゃないでしょうか.

相田 そうですね. 書店選定の良し悪しによって補充率も違ってくるわけです. だから良い成績をあげたところは,よけい点数を出せるという"差"をつけている. この方が書店さんにも喜ばれるし長続きします. 書店さんの評判が悪ければ長続きはしませんよ.

関 アンケートの中で、渋谷の郁文堂さんなどから「良い企画だと思うが、 出版社の中には出品点数の少ない所がある。もっと増やせ」というご意見があ りましたが、これはいま相田さんがいわれたように"ペナルティ"なんですね。 初めの頃に比べて点数も増えてきてはいますが、書店さんにはまだこのペナル ティについてご理解いただいてないので、昨年の12月1日発行の「人文会ニュース」に展示販売はこういう形でやっているという記事を掲載しまして、ご 理解をいただくようにしました。

III ことしの人文会は何をするのか

司会 この辺で対取次、対書店という形で、流通問題を踏まえながら、人文会の"ことしの方向づけ"といったことをお話しいただきたいのですが――

中平 いま人文会には「弘報委員会」「四季報委員会」「特約店委員会」「販売 懇談委員会」「展示販売委員会」の五委員会があります。四季報、販売懇談委 は話に出た通り着実に伸ばしているが、弘報委は「人文会ニュース」の作製に 当たり、特約店委はこれからの問題を検討、展示販売委は人文会結成以来のメ ーン行事である展示販売に関する業務を推進しているわけです。各委員長がい ろいろと苦心していますから、(笑い)その足跡を追っていけば自ずと方向が 出てくると思います。四季報委員会の今年の課題はどうですか。

関 そうですねえ、"紙面の強化"といっても、これはもう軌道に乗っていますからね。

相田 あとは活用の問題……

関 現在の4万5,000部のうちの2万5,000部という形の利用法,これをもう一度分析して、現在絶対数はどうなのか、利用のされ方はどうかを考えていかなくちゃならないと思います。四季報の第1のポイントは「新刊レビュー」にあるといえます。新刊も店頭では見落してしまう場合が多いんですが、3カ月間の新刊が紹介されていることで、この欄が大変高く評価されています。

山根 展示販売委員会も、現在の展示販売をより効果的にしていく、という ことでしょうね。

中平 将来は"テーマ展示"という形もあるという気がするんですが―― 相田 しかしそれはむずかしいですよ.

中平 それから"冊数"の問題,これを拡大していける方法はないか.それと特約店問題もからんできますが、書店の選定をどうするか、ということがあります.展示販売はより吟味して、より大胆にやる必要がでてくるのじゃないかという気がします.拡大していくのか、また特約店制度にのっかっていくのか、この点も特約店問題、展示販売問題の大きな研究課題になりそうです.

関 そうですね、特約店問題は展示販売と関連が強いですからね、点数増ということは特約店ということを踏まえてみると、もう限界じゃないかと思うんです、ただ内容的なものを、例えば新学期にはその時期にあったものを、基本とは別に、そういう質的な販売活動を行うことも一つの方法として考えられるわけです。"内容の充実"ということをことしは考えていきたいと思います、取次のセットの種類についても2段階に分けたもの、例えば従来の点数規模の

ものと、それより若干絞ったものを考えたら、という取次の声も出ていますが、 これも大きな課題でしょうね。

相田 ぼくの考えでは、各社の常備が紙不足などの要因からある程度締めざるを得ないんじゃないかという気がするんです。とすると逆に展示販売は拡げる感じの方が強いんじゃないでしょうか。

鎌塚 販売懇の方もことしの要はやはり特約店の問題になると思いますが, 人文会の販売懇談委員会は,書店の流通チャンネルだけを考えるのではなく, 他産業なり他のチャンネルも勉強する場所としてあるんです.現状での取次・ 小売書店の流通経路は当然研究していますが,視野はもっと広いんです.だか ら委員会の名称も"書店"懇談委員会ではなく,"販売"懇談委員会となってい るんです.

山根 懇談会は、こんご回数的には増やしていくのか、従来通りなのか、委員会の方向として明らかにした方がいいね.

鎌塚 私は調べることが好きなんで、過去5年間にわたっていろいろな調査をやってきましたが、44年の暮から45年にかけて、各社の常備の実態調査をやりまして、それから去年、ちょっと角度は違うけれども、同じように常備の調査をやってみたのですが、この二つを比較してみると、書店もさることながらわれわれもかなり書店選びをしてきており、集中化しているのがはっきり出ています。集中化されてきているということは、人文会の活動が一応業界での信任を得られたということがいえると思うんです。こんごこうしたお店との話し合いをもっと進めていくべきだと思う。場合によってはグループ化した書店さんとの話し合いも必要かも知れませんが、店の大小にかかわらず人文図書をお店の中心として販売してくれる書店さんとの対話が必要だと思います。機会があったら全国の書店さんにお集まり願って、じっくり話したいなと、考えているんです。

山根 例えば展示販売ひとつをとっても、13回を数えてます. 手前味噌かも知れませんが、恐らくこれほど続き、なおかつセット申込みの書店さんの数が減らないという例はそうないと思います. 取次さんでもある程度の期待をもって、一軒一軒の補充まで記録をとって協力していただいているんです. また書店さんとの懇談会も"1回で終り"というケースはあまりないですね. もう一度ぜひやりたいということで、例えば三省堂、紀伊國屋、有隣堂などの書店さんは、何回も懇談会を続けてもっています.

鎌塚 恒例化してきてますね.

山根 1回目より2回目,2回目より3回目と話もだんだん具体的なものになりますし、書店さんも真剣になってます。同じところばかりやるのでなく、対象も増やしていかなくてはなりませんが1回で終るのでなく、初めに結論が出なかったものも、次の懇談会で一つの方向をみつけ出していくというように"積み上げ"ていくこういう形になってきています。

司会 具体的な"書店の組織づくり"の機も熟しつつあるわけですね.

鎌塚 いや,まだまだですよ.

司会 「人文会ニュース」も会の弘報活動の一環として出されているわけですが、現在は何号まで出ておりますか.

相田 昨年の暮に第3号を出しています。この「人文会ニュース」は、われわれが地方に行きますと、「人文会というのは何をやってるのか」ということを、こと新しく説明しないと書店さんはご存知ないんですね。これではいけない、もっと知ってもらってご協力いただこうということから発行するようになったわけです。これまで特約店委員の発表とか、どういう本が売れているか、3カ月間にどんな新刊が出るかというようなことを載せてきたのですが、昨年あたり地方に行ってみますと割合に書店さんも読んでくれていて、話がスムーズに進み、すぐに論議を戦わせることができるようになりました。今までだと会の説明を長々とやるため論議の時間もなくなりがちでしたが、共通の基盤の上で話ができるようになったという感じです。出版社の立場を書店さんに知ってもらう"機関誌"にしたいですね。

中平 人文図書というのは1,000—3,000 部単位です. これが人文書の限界ですが、同時に、ロングセラーとして長く読者をひっぱってきているわけです. だから読者に知らせることが必要であり、この「人文会ニュース」の中でさっき申し上げた哲学・思想、宗教、心理、歴史、社会、評論の6分野を1年間にわたって取り上げて、1年間で一通り回りますから、そのあとをどうするかがことしの課題になるでしょうね. いま「人文会ニュース」は、やや目録を主にしているけれども、次第にニュース的、解説的あるいは論説的になっていく可能性はありますね. その一つの試みとして、第3号に広島・岡山の現状報告、新刊配本にからんだ"特約店問題"を取り上げてみたんです.

IV 特約店制度の確立を目ざして

司会 「特約店制度」を一つの"頂点"とするなら、そこに至るためにどんな活動が必要になりますか、以前この件について対書店さんにアンケート調査をなさいましたね。

相田 一昨年9月,例のブック戦争のさ中にやったんです. (笑い) あの調査はさきほどの話に出た読者アンケートの読者に人気のある書店を基礎にして,各社がどの辺の店を特約店としたらよいかを,アンケートをとって集計しそれを発表して,書店さんに「ことしの秋ごろから特約店制度を作りたいがお宅のお店にどういうメリットが欲しいか」という質問をしたんです. この調査で書店さんが特約店のメリットをどう考えているかを知ることができました.

司会 手応えはどうでした.

相田 いいんじゃないですか. しかし実際にはこの業界の特約店というのはなかなかむずかしいんですね. 他業界だと特約店しか売らないということもできるけれど,この業界はそれがむずかしい. 小売からいえば,本は"共販"だし,またわれわれにしても特約店だけで100%売れるかというと非常にむずかしい面があります. まあそうした中でも,できるだけ無駄を排除した考え方,特約店になった店が,なっただけのことはあった,という選択の仕方をしなくてはいけませんね.

中平 "出版物"というものは必ず"読者を想定"しているし、当然想定した読者に、より的確に届くことが望ましいわけで、より多くの読者を開発し、その開発された読者により効果的に流通のレールにのってもらうということになると思います。ですから開発された読者に"集約"し"組織"化することも考える必要があるわけで、そこに自ずと「特約店」という問題も必然的に生じてきます。もちろん本は"共販"であり、読者は全国にいるわけですから"制限"を加えるわけにいきません。しかし"集中化"を図った方がお互いにより効果的であると思います。書店と読者をもっと緊密化し、それを通して版元と読者のつながりもより深まる。抽象的ないい方をすると、こういうことだと思いますが、これを具体化するにはどうすればよいか、というのがことしの課題でしょうね。

山根 会の結成目的は「秀れた人文図書の普及・販売」につきるわけで、特 約店制度を作ることが目的ではなかった。しかし懇談会を通して書店の意見を 聞いたり、いろいろ接触しているうちに、会の中から「特約店制度というもの を研究してみたらいいんじゃないか」という考えが結果として出てきたといえ ます.だからいきなり「特約店」を意識したのではなく、会として書店と接触 しているなかでそういう"必要性"が生まれてきたということだと思います.

相田 特約店というもののイメージが、19社の中でそれぞれ違うわけで、これを人文会としてある程度調整する必要があります。また書店さんにもそれな

りのメリットを考えたイメージがあるでしょうし、それをどの程度まで出版社 が応えられるかでしょうね.

発足当初は割合にお互いのメリットは少ないかも知れません。書店さんは "選ばれ" ても初めはおそらく大したメリットはなかったということがあるか もしれない。しかし3年後、5年後をみてくれ、それに見合うだけの姿勢を出 版社が確立したあかつきには相当のメリットがある、そういえるものを作りた いという考えです。結局無理に特約店をつくるのではなく、"積み重ね"の上で やりたいということです。

山根 特約店委を一昨年,相田さんから引き継いだのですが,人文会の結成当初から特約店問題も具体的な"言葉"こそなかったけれども,大なり小なり会員各社それぞれ考えていたんですね。書店さんとの接触を続けていくうちにその必要性が"必然的"に出てきたわけで,一昨年の秋に人文会の特約店制度をやりたいということで発表しまして,2年間の研究を経てことしの秋に具体化ということで,約230店ほどの書店さんのアンケートを取り,190軒近くの書店さんの賛同を得ました。これはぼくの個人的意見なんですが,特約店の考え方としては,やはり書店を"絞る"ということがどうしても強くなるわけです。書店さんからいうと"絞られる"ということになり,自分の店が特約店からはずされるのではないかという危惧を持たれる書店さんも生まれるかも知れません。しかし現状を正確に判断すれば,こういう問題はいやでも出てきます。

相田 先日 19 社で年間 1,000 部以上売れているものを調べたら約 900 点あるんですね. これを書店さんに置いた場合,棚にして 20 段は要る計算になる. それに見合う売上げがなければ書店さんも置きませんから,発足当初は書店数は"絞られる"でしょうね.

山根 研修旅行で書店さんを訪問して感じるのですが、昔は人文書の版元は作り部数の8-9割を配本していたのが、いまの書店さんの現状では低いところで3割、高いところでも5-6割に抑えています。そこへもってきて書店さん側からみると資金繰りなどの問題もあって、お店での展示期間が短縮されており、常備店でもないと、自分のところの商品はほとんどない。"新刊"として入っていても、せいぜい3カ月位がいいところ、という状況ですね。

関 的確な送品に対する最大の売上げということで、書店さんは動きの良いものを考えますからね.

山根 書店さんの "大型化" が進んでいますが、大きくなったから人文図書 も充実して置いてあるかというと、必ずしもそうではないんです。だから特約 店というものを書店さんの規模の"大小"で考えるのではなく,人文図書を売る書店さんの客層から考えられた販売姿勢,人文図書の棚,スペースといったものがポイントになるでしょうね。この"特約店"問題は,いろいろむずかしいんですが,いま会員19社の常備がどの書店さんに出ているか,またその内容なども具体的に検討している最中なんですが,現在会員社の常備店の合計は,重複を除くと約1,500店,冊数で150万冊位になるようですが,必ずしもお店の規模の大小に関りなく,もちろん大手で19社の常備1万冊を持っている書店もありますが,小さな坪数でも相当人文図書を持っているところもあります。こういう実態をまずつかんでいくことです。

前田 特約店の問題はまだはっきりしていませんが、ある意味では特約店というものが対象を "絞った形"になることが考えられます。しかし一方では人文図書の "普及"ということも考えなくてはいけないし、どういう形で特約店制度を発足するにしても、特約店だけで売ればいいというわけにはいかないと思います。特約店以外のところというか、"拡大"の形で展示販売を考えていかなくてはいけない。ですから点数を増すことと同時に、逆に点数を絞った内容でお願いする書店のことも考える必要があると思います。

山根 "特約店とはこうあるべきだ"という教科書があるわけでなく、往々にして一番大切な書店さん側からみて「特約店といっても出版社がそういっているだけで単なる常備店でしかない。書店にメリットがない」という不満が起きるおそれがあります。書店さんのメリットをどう考え、また、われわれがそれにどう協力していけるか、を考えていかなくてはいけません。それも1社の目でなく19社全体の目、つまり人文会という組織の目で書店さんをみ、選ばなくてはいけないということです。客層、書店の人文図書の力の入れ具合、こういうものを的確につかむことが、結果において特約店問題の正確なアプローチになると思います。変に先行しちゃうと不的確な選定になってしまい、書店さんの意向を無視した結果となって、評判を落としてしまう恐れがあります。

中平 用紙不足を始めとする "不況" がすぐ真近にきています. ここでわれわれ出版社にしても書店さんにしても,大きく目を見開いて "何が必要なのか,何が求められているのか" を見極めなくちゃいけない. われわれの一方的な押しつけのものでなく,書店さんに自主的に判断してもらわなくてはいけない. これまでは出版社側の "一方交通"ですんでいたわけですが,それを書店さんが自らの判断で人文図書を "積極的に売ろう"という方針をお持ちになる,それに対してわれわれも "積極的に売ってもらおう"という方針が生まれ、これ

が合致した時に初めて"特約店"ということが出てくると思うんです.

相田 プロ書店が特約店になってくれるとありがたいですね.

中平 人文図書の読者は法経書も理工図書も読むし、各層の図書普及につながる"出版物・文化の基礎"です。この点を書店さんに再認識していただいて、人文図書の積極的な販売が、店全体の増売につながるんだ、とお考えいただき、より一層のご協力をお願いしたいですね。 (おわり)

出 席 者

人文会代表幹事 中平千三郎 人文会幹事・弘報委員長 相田良雄 同・販売懇談委員長 鎌塚 正 同・展示販売委員長 関 導 一 同・特約店委員長 山根 襄 同・弘報委員 前田昌男 司会 新聞之新聞社 片山昻士

人文会会員出版社名簿 昭和49年1月10日現在

	社	名			担当	台 者		〒番号	所 在 地	電話
青	木	書	店	Ц	1 根		襄	101	千代田区神田神保町 1-60	292-0481
紀化	尹國	屋書	店	関		導	-	102	千代田区五番町 12	263-9006
勁	草	書	房	石	i 橋	雄	=	112	文京区後楽 2—23—15	815-5277
現	代点	思 潮	社	酒	并	正	雄	112	文京区小日向 1—24—8	943-4406
社.	会是	思想	社	斜	埬 塚		正	113	文京区本郷 1-25-21	813-8101
春	禾	火	社	柜	津	栄	=	101	千代田区外神田 2-18-6	255-9611
誠	信	書	房	共	; 戸	玄	徳	112	文京区大塚 3-20-6	946-5666
筑	摩	書	房	安	藤藤	弘	樹	101	千代田区神田小川町 2-8	291-7651
東	京倉	削 元	社	清	青 水	純	孝	162	新宿区新小川町 1—16	268-8231
東京	大约	学出版	i会	中	平	千:	三郎	113	文京区本郷 7—3—1	811-8814
日	本言	平論	社	岩	台 田	新	造	160	新宿区須賀町 14	341-6161
福	村	出	版	坊	本	和	重	113	文京区本郷 4—23—9	811-0660
平	J	L	社	4	給黎	元	郎	102	千代田区四番町 4-1	265-0451
法正	女大学	学出版	 词局	ßī	可部	好	文	106	港区南麻布 2-8-4	453-0717
み	すっ	ド書	房	相	田田	良	雄	113	文京区本郷 3—17—15	814-0131
未	3	K	社	石	5 井	奈」	良彦	112	文京区小石川 3-7-2	814-5521
有	三	是	閣	前	〕 田	昌	男	101	千代田区神田神保町 2-17	265-6811
吉	川弓	人 文	館	朴	k	利		113	文京区本郷 7—2—8	813-9151
理	煮	想	社	7	5 井	嗣	基	162	新宿区赤城下町 46	268-1306

人文基本図書目録

人文書の特色は、毎年コンスタントに一定部数が売れることであります。この図書目録は、会員 19 社の人文書のうち、毎年 1,000 部以上 (除教科書) 売れている書籍の一覧表であります。〔但し★印は毎年 3,000 部以上 (除教科書) 売れる売行良好書であります。〕

第四回掲載として「宗教」「社会」部門を選びました.人文書目録の小項目分類に則り、表示致しました.書店の商品構成のお役に立てば幸甚に存じます.

〔宗教一般〕

	著編者(訳者略)	書名	判型	定価	発行所
Α.	トインビー	一歴史家の宗教観	A 5	1,500	社会思想社
D.	ヒューム	叢書・ウニベルシタス 宗教の自然史	4 6	650	法大出版局
⋆ M.	エリアーデ	叢書・ウニベルシタス 聖 と 俗	4 6	1,200	法大出版局
ム	ビティ	りぶらりあ選書 アフリカの宗教と哲学	4 6	980	法大出版局
⋆E.	モ ラ ン	叢書・ウニベルシタス 人 間 と 死	4 6	1,500	法大出版局
★佐	和 隆 研編	仏 像 図 典	A 5	1,700	吉川弘文館
★佐	和 隆 研編	仏 像 案 内	B 6	1,000	吉川弘文館
小 堀	口 偉 一監修	宗教学辞典	菊	4,800	東大出版会

〔宗教学〕

н.	N. マッ	クフ	ァー	ランド	神々のラッシュアワー	B 6	680	社会	会思想	想社
古	野	清		人	宗教生活の基本構造	A 5	2,800	社会	会思想	想社
野鈴	村村木	易之	青ほ	か	現代諸民族の宗教と文化	A 5	3,500	社会	会思想	想社
★増	谷	文		雄	(筑摩叢書 113) 仏教とキリスト教の比較研究	4 6	800	筑	摩書	房
★マッ	クス・	ウェー	ーバ	:-	宗教社会学論選	4 6	700	みす	すず福	夢
ベ	=	Ē		_	日本近代化と宗教倫理	A 5	1,000	未	来	社
エ	リフ	? _	-	デ	永遠回帰の神話	В 6	650	未	来	社
エ	リフ	-		デ	大地・農耕・女性	B 6	800	未	来	社

星森	野元龍	豊吉	現代哲学全書 仏 教	В 6	850	青	木書	店
* 山		文	坐禅和讚講話	4 6	780	春	秋	社
* 山	田無	文	むもん法話集	4 6	780	春	秋	社
* 山	田 無	文	生活の中の般若心経	4 6	780	春	秋	社
大	森曹	玄	参 禅 入 門	4 6	750	春	秋	社
大	森曹	玄	剣 と 禅	4 6	750	春	秋	社
大	森曹	玄	書と禅	4 6	900	春	秋	社
中	西 政	次	弓と禅	4 6	650	春	秋	社
伊	藤 古	鑑	茶と禅	4 6	650	春	秋	社
柴	山 全	慶	禅 心 茶 話	4 6	750	春	秋	社
柴	山 全	慶	禅 心 禅 話	4 6	600	春	秋	社
朝	比奈岩	ト 源	仏 心	新書	300	春	秋	社
水	野 弘	元	修証義の仏教	4 6	700	春	秋	社
増	永 霊	鳳	学道の用心	B 6	650	春	秋	社
大	石 順	教	無手の法悦	小B 6	650	春	秋	社
中	村久	子	こころの手足	小B 6	600	春	秋	社
平	Щ	彰	生活の中の仏教	4 6	700	春	秋	社
玉	城 康 🛭	9 郎	宗教と人生	4 6	700	春	秋	社
水	野 弘	元	釈尊の生涯	4 6	1,000	春	秋	社
中	村	元	釈尊のことば	4 6	750	春	秋	社
増	永 霊	鳳	永平正法眼蔵	4 6	1,000	春	秋	社
水	野 弘	元	仏教の基礎知識	4 6	750	春	秋	社
水	野 弘	元	仏教要語の基礎知識	4 6	850	春	秋	社
中	村 宗		全訳正法眼蔵(全四巻)	A 5	各2,800	誠	信 書	房
禅	文化学院	浣 編	現代訳正法眼蔵	A 5	1,200	誠	信 書	房
★中	村 元	監修	新•仏教辞典	В 6	2,000	誠	信 書	房
鏡	島 元	隆編	道元禅(1)伝と人物	B 6	500	誠	信 書	房
田	中 忠	雄編	道元禅(2)学道入門	B 6	500	誠	信 書	房
秋	山範	二編	道元禅(3)人間性	B 6	500	誠	信 書	房
飯	田利	行編	道元禅(4)生活	B 6	500	誠	信 書	房
澤	木 興	道	禅とは何か	В 6	850	誠	信書	房

澤	木 與	道	観音経講話	B 6	680	誠信書房
田	中 忠	雄	禅の巨匠に学ぶ	B 6	1,000	誠信書房
中	岡宏	夫編	禅の精髄	B 6	850	誠信書房
大	森曹	玄	禅 の 道	B 6	850	誠信書房
★橋	本 凝	胤	般若心経講話	B 6	680	誠信書房
★紀	野一	義	(現代に生きる仏教1) い の ち の 風 光	4 6	950	筑 摩 書 房
★紀	野 一	義	(現代に生きる仏教2) 仏との出会い	4 6	950	筑摩書房
★紀	野一	義	(現代に生きる仏教3) 大 悲 風 の 如 く	4 6	950	筑摩書房
★紀	野一	義	ある禅者の夜話 -正法眼蔵随聞記-	4 6	650	筑摩書房
★野	間	宏	歎 異 抄(新装版)	4 6	600	筑摩書房
★紀	野一	義	私の歎異抄	4 6	650	筑摩書房
★水	野弥穏	子	(筑摩叢書5) 正法眼蔵随聞記	4 6	750	筑摩書房
★増	谷 文	雑	(筑摩叢書 18) 歎 異 抄	4 6	600	筑摩書房
橋	本 凝	胤	(現代を生きる心1) 変 ら ざ る も の	4 6	650	筑摩書房
柴	山全	慶	(_" 2) 命を生きる	4 6	650	筑摩書房
山	田 無	文	(// 3) 心の眼を開く	4 6	650	筑摩書房
朝	比 奈 宗	源	(// 4) しっかりやれよ	4 6	650	筑摩書房
曾	我 量	深	(″ 5) 本願に生きる	4 6	650	筑摩書房
中	川目	史	(// 6) いのちの四季	4 6	650	筑摩書房
友	松 円	諦	(″ 7) まことの生活	4 6	650	筑摩書房
澤	木 興	道	(// 8) 水流るるごとく	4 6	650	筑摩書房
妙	好 人	集	(// 9) 日々を新たに	4 6	650	筑摩書房
諸	家	集	(″ 10) 生けるしるし	4 6	650	筑 摩 書 房
ο.	ヘリケ	・ル	弓 と 禅	4 6	800	福村出版
奈	良本辰	也編	服部之総全集13巻 親 (講	4 6	1,400	福村出版
中	尾	堯	^{日本宗教史研究} 書 日蓮宗の成立と展開	A 5	2,000	吉川弘文館
大	橋 俊	雄	^{日本宗教史研究叢書} 時宗の成立と展開	A 5	2,000	吉川弘文館
★大	野達之	助	新稿日本仏教思想史	4 6	1,300	吉川弘文館

大 野 達 之 助	日本歴史叢書 28 上代の浄土教	4 6	1,000	吉川弘文館
大野達之助	人物叢書 6 蓮	小B 6	600	吉川弘文館
赤松俊秀	人物叢書 65	小B 6	750	吉川弘文館
	本元			
〔キリスト教〕				
(4 7 × 1 4%)				
久 山 康編	現代哲学全書キリスト教	В 6	700	青木書店
田川建三	立ちつくす思想	В 6	800	勁草書房
D. H. ロレンス	(筑摩叢書 47) ーアポカリプス論一 現代人は愛しうるか	4 6	650	筑摩書房
ブルトマン	イエス	В 6	680	未 来 社
ブーバー	キリスト教との対話	В 6	650	理想社
ヘッセン	人生は何のために	B 6	500	理想社
〔社会一般〕				
羽 仁 五 郎	都市の論理	В 6	上製950 並製850	勁草書房
梅 根 悟編	日本の教育はどうあるべきか	B 6	320	勁草書房
梅根 悟編	日本の教育をどう改めるべきか	В 6	320	勁草書房
梅 根 悟編	続日本の教育をどう改めるべきか	В 6	550	勁草書房
小林直樹編	教育改革の原理を考える	В 6	600	勁草書房
一番ケ瀬康子編	保育一元化の原理	В 6	500	勁草書房
森本和夫	超家庭への透視	В 6	900	現代思潮社
森本和夫編	婚姻の原理	В 6	1,200	現代思潮社
森 透 人	沖縄怨歌・崩壊への出発	B 6	950	現代思潮社
大島建彦ほか	日本を知る事典	B 5	5,500	社会思想社
大森志郎**** 社会思想社編	三六五日事典	В 6	800	社会思想社
作 田 啓 一編	(学問のすすめ4) 社会学のすすめ	4 6	550	筑摩書房
H. D. ラスウェル	(現代社会科学叢書) 権力と人間	В 6	600	東京創元社
★W. H. ホワイト	(В 6	700	東京創元社
★W. H. ホワイト	組織の中の人間(下)	В 6	700	東京創元社
*C. W. ミルズ	(") ホワイト・カラー	В 6	720	東京創元社

D. ブーアスティン	(現代社会科学叢書) 幻 影 の 時 代	B 6	590	東京創元社
★鈴 木 大 拙 E. フ ロ ム	(″) 禅と精神分析	B 6	680	東京創元社
★ E. フ ロ ム	(″) 疑惑と行動	B 6	500	東京創元社
★ Е. フ ロ ム	(/ /) 自由からの逃走	B 6	700	東京創元社
Е. フ ロ ム	(") 第一 》	B 6	550	東京創元社
*Е. フ ロ ム	(″) 夢の精神分析	B 6	580	東京創元社
*E. フ ロ ム	(// // // // // // // // // // // // //	B 6	400	東京創元社
*E. フ ロ ム	(// // // // // // // // // // // // //	B 6	600	東京創元社
*R. リ ン ト ン	(//) 文化人類学入門	B 6	400	東京創元社
★マーガレット・ミード	(//) 男性と女性(上)	B 6	650	東京創元社
★マーガレット・ミード	(//) 男性と女性(下)	B 6	550	東京創元社
W. コーンハウザー	(") 大衆社会の政治	B 6	600	東京創元社
シモーヌ・ウェーユ	(″) 抑圧と自由	B 6	550	東京創元社
シ ュ ラ ム編	(") マス・コミュニケーション	B 6	880	東京創元社
ベル	(″) イデオロギーの終焉	B 6	750	東京創元社
デュマズディエ	(") 余暇文明へ向って	B 6	800	東京創元社
S.M. リプセット	(") 政治の中の人間	B 6	1,000	東京創元社
福 武 直	現代日本社会論	A 5	900	東大出版会
福武 直・日髙六郎 編 髙橋 徹	講座社会学1 個人と社会	A 5	580	東大出版会
"	″ 4 家族・村落・都市	A 5	580	東大出版会
"	7 7 大 衆 社 会	A 5	580	東大出版会
森 岡 清 美編	社会学講座 3 家族社会学	A 5	900	東大出版会
蓮 見 音 彦編	″ 4 農 村 社 会 学	A 5	900	東大出版会
倉 沢 進編	″ 5 都市社会学	A 5	900	東大出版会
松島静雄編	″ 6 産業社会学	A 5	900	東大出版会
綿 貫 譲 治編	政治社会学	A 5	900	東大出版会

辻 村	明編	社会学講座13 現代社会	論	A 5	900	東大出版会
松原治	郎編	社 会 開 発	論	A 5	900	東大出版会
岩 井 弘	融編	社会病理	学	A 5	900	東大出版会
野 村 浩	_	中国革	命	4 6	750	平 凡 社
竹 内 良	知	人 民 戦	線	4 6	750	平凡社
アンリ・ト	セー	りぶらりあ選書フランスの社	会構造	4 6	800	法大出版局
安 永 寿	延	マルクス主義		4 6	500	法大出版局
*クチンス:	+ -	りぶらりあ選書 労働の歴	史	4 6	980	法大出版局
*ユ・イ・セミョー	-ノフ	りぶらりあ選書 人類社会の形		4 6	各1,200	法大出版局
*D. リース・	マン	孤独な群		A 5	1,400	みすず書房
★G. R. ティ	ラー	人間に未来は	にあるか	B 6	700	みすず書房
D. リース・	マン	何のための豊	しかさ	A 5	1,200	みすず書房
J. ロビン	ソン	社会史入	門	4 6	700	みすず書房
N. ウィー:	ナー	人間機械	論	В 6	800	みすず書房
大 塚 久	雄	宗教改革と近	代社会	B 6	700	みすず書房
河 合	武編	人類の行	方	B 6	550	みすず書房
S. ヒュー	- ズ	意識と社	会	A 5	1,200	みすず書房
福武 直・日高六 高橋 徹	京郎 編	社会学辞	典	A 5	4, 200	有 斐 閣

〔社会学理論〕

田口富久治	現代日本の政治と統一戦線	B 6	1,000	青木書店
岡倉古志郎編	講座現代日本資本主義一巻 世界と日本	B 6	1,200	青木書店
田口富久治編	政 三巻	В 6	1,200	青木書店
宇 野 弘 蔵	社会科学の根本問題	B 6	1,000	青木書店
新 明 正 道	社会学的機能主義	B 6	1,000	誠信書房
T. パーソンズ	政治と社会構造(上)	A 5	4,000	誠信書房
ライト・ミルズ	パワー・エリート(上・下)	4 6	各580	東大出版会
折 原 浩	危機における人間と学問	B 6	1,200	未 来 社
樺 俊 雄	現代における人間疎外	В 6	580	未 来 社
マンハイム	イデオロギーとユートピア	A 5	1,200	未 来 社

							_
★日本社会学会編	有斐閣双書 現代社会学入門	B 6	550	有	斐	閣刊	
★福 武 直編 ★浜 島 朗編	有斐閣双書 社 会 学	В 6	600	有	斐	閣	
日本社会学会編	教養講座 社 会 学	A 5	800	有	斐	閣	
山 根 常 男 _編 森 岡 清 美 ^編	^{有斐閣双書} 現代社会学の基本問題	B 6	700	有	斐	閣	
★塩原 勉・松原治郎 編 大橋 幸	社会学の基礎知識	A 5	1, 100	有	斐	閣	
★佐藤 毅・鈴木 広 編 ★布施鉄治・細谷 昂 編	有斐閣選書 社会学を学ぶ	4 6	850	有	斐	閣	
青井和夫・松原治郎 編 副田義也	有斐閣双書 生活構造の理論	B 6	900	有	斐	閣	
M. ウェーバー	権力と支 <u>配</u>	B 6	800	有	斐	閣	100
福 武 直編	有 型閣双書 社会学研究案内	B 6	700	有	斐	閣	٠
★福 武 直編 *松 原 治 郎編	有斐閣双書 社 会 調 査 法	B 6	870	有	斐	閣	
安 田 三 郎	社会調査ハンドブック	B 6	850	有	斐	閣	

〔家族社会学〕

性と文化の革命	B 6	600	勁草書房
近代文学に於ける「家」の構造	B 6	1,200	社会思想社
親と子	B 6	680	東大出版会
信濃のおんな(上)	B 6	580	未 来 社
信濃のおんな(下)	B 6	580	未 来 社
おんなの歴史(上)	B 6	680	未 来 社
おんなの歴史(下)	B 6	680	未 来 社
おんなの戦後史	B 6	680	未 来 社
有斐閣双書 家族社会学	B 6	650	有 斐 閣
	近代文学に於ける「家」の構造 親 と 子 信濃のおんな(上) 信濃のおんな(下) おんなの歴史(上) おんなの歴史(下) おんなの戦後史 有斐閣双書	近代文学に於ける「家」の構造 B 6 親 と 子 B 6 信濃のおんな(上) B 6 信濃のおんな(下) B 6 おんなの歴史(上) B 6 おんなの歴史(下) B 6 おんなの戦後史 B 6 有斐閣双書	近代文学に於ける「家」の構造 B 6 1,200 親 と 子 B 6 680 信濃のおんな(上) B 6 580 信濃のおんな(下) B 6 580 おんなの歴史(上) B 6 680 おんなの歴史(下) B 6 680 おんなの歴史(下) B 6 680 680 有要関双書 B 6 680

〔地域社会学〕

西	Щ	夘	三編	21世紀の設計(1) 人 間 と 生 活	A 5	2,300	勁草書房
西	山	夘	三編	″ (2) 空間と環境	A 5	2,300	勁草書房
西	山	夘	三編	″ (3) 技術と社会	A 5	2,300	勁草書房
西	山	夘	三編	″ (4) 国土の構想	A 5	2,300	勁草書房

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
北 日 本 新 聞 社 地方自治取材班	E _{willi}	よみがえれ地方自治	B 6	750	勁草書房
河 北 新 報 社 盛 岡 支 社	編 =	化上山地に生きる	B 6	900	勁草書房
野口雄一郎・奥田義 雄・西川太二郎		日本列島巨大都市その現実	B 6	850	勁草書房
奥田義雄・野口雄一 郎・西川太二郎	.編	日本列島地方都市その現実	B 6	850	勁草書房
西川太二郎・奥田義 雄・野口雄一郎	編	日本列島農山漁村その現実	B 6	850	勁草書房
★武 藤 光 朗	編	畐 祉 国 家 論	B 6	800	社会思想社
N. J. スメルサ	·- <u>1</u>	集合行動の理論	A 5	3,800	誠信書房
小 辻 誠	祐 -	ュダヤ民族	B 6	1, 200	誠信書房
山 根 常		キブツの 記録	B 6	750	誠信書房
増 田 四		筑摩叢書 110) 郡 市	4 6	520	筑摩書房
谷 川 健		評論シリーズ) 里もれた日本地図.	4 6	800	筑摩書房
宮 本 憲		評論シリーズ) 3本の都市問題	4 6	680	筑摩書房
石 田 英 一	郎	日本文化論	4 6	600	筑摩書房
エドガール・モラ		オルレアンのうわさ	4 6	1,300	みすず書房
岩 井 弘 翮	編	i斐閣双書 都市社会学	B 6	650	有 斐 閣
中村八	朗	″ 都市コミュニティの社会学	B 6	800	有 斐 閣
			,		
〔産業社会	学 〕				
日本科学者会議	義編 3	 現代技術と社会	В 6	1,000	青木書店
T. ★t. &b. 205±4	-6.77	1十八岁夕辛夕野四人	D.C	1 000	시 A 마구마시

日本科学者会議編	現代技術と社会	B 6	1,000	青木書店
千葉徳 爾註解	日本山海名産名物図会	B 6	1,000	社会思想社
フィリス・ディーン	イギリス産業革命分析	A 5	2,800	社会思想社
S. R. パーカーほか	産業と社会	A 5	1,800	社会思想社
萬 成 博編 杉 政 孝編	有斐閣双書 産業社会学	В 6	700	有 斐 閣

〔福祉・教育社会学〕

岡	田	靖	雄	差別の論理	B 6	850	勁草書房
★仲	村	優	_	(社会福祉事業シリーズ1) ケースワーク〔第2版〕	B 6	680	誠信書房
	番ヶ	瀬康	子	(" 2) 社会福祉事業概論	В 6	580	誠信書房

小	Ш	政	亮	(社会福祉事業シリーズ4) 社会事業法制概説	В 6	680	誠(信書	房
吉高	田島	久	進	(5) 社会事業の歴史	В 6	600	誠	信書	房
★窪	田	暁	子	(″ 7) グループワーク	В 6	680	誠(信書	房
F.	P. バイ	イステ	・ック	(社会福祉事業翻訳シリーズ1) ケースワークの原則	B 6	550	誠(信書	房
M.	E. リッ	ッチモ	シド	(名著の翻訳シリーズ) 人間の発見と形成	В 6	680	誠(信書	房
★芸	谷沢	嘉英	朗子	養護原理	В 6	550	誠(信書	房
佐	藤	忠	男	学習権の論理	B 6	700	平	凡	社
大	橋		薫編	^{有斐閣双書} 社 会 病 理 学	B 6	580	有	斐	閣
★ 真	番 ケ 瀬 田	順 康	子 是編	有斐閣双書 社 会 福 祉 論	B 6	700	有	斐	閣
姫二	岡 関	隆	勤 _編 美	^{有斐閣双書} 教 育 社 会 学	B 6	580	有	斐	閣
大大	橋藪	寿	薫編	有斐閣双書 都市病理学	B 6	650	有	斐	閣

〔社会心理・マスコミ〕

★E.	ホッフ	₇ –	大 衆 運 動	В 6	760	紀伊國屋
清	水 英	美夫	法とマス・コミュニケーション	A 5	1,200	社会思想社
. 内	川	美	新聞史話	B 6	480	社会思想社
田	村 紀	2 雄	組織情報と組織媒体の研究	A 5	1,700	社会思想社
放:	送批評懇	談会	放送の自由は死滅したか	B 6	1,000	社会思想社
★田	英	夫	真実とはなにか	B 6	580	社会思想社
佐	藤	穀編	有斐閣双書 社 会 心 理 学	B 6	750	有 斐 閣
日高 稲葬	5六郎・佐藤 三千男	穀編	有斐閣双書 マス・コミュニケーション入門	B 6	700	有 斐 閣
千	葉 雄 次	郎編	有斐閣双書 マス・コミュニケーション要論	В 6	600	有 斐 閣
	〔社会問	題〕				
宇	井	純編	現代社会と公害	В 6	700	勁草書房
宇	井	純編	現代科学と公害	В 6	750	勁草書房
宇	井	純編	続現代科学と公害	B 6	750	勁草書房
宇	井	純編	公害被害者の論理	B 6	750	勁草書房
東東	京大学公園	開講座	公 害	B 6	680	東大出版会

広島平和文化図書 刊行会	ヒロシマの証言	В 6	580	日本評論社
★G. R. テイラー	続人間に未来はあるか	В 6	800	みすず書房
★高橋晄正・藤木英雄 森島昭夫・柳沢文徳	有斐閣選書 食品・薬品公害	4 6	950	有 斐 閣
	RIII XIII A I			
〔文化人類学〕				
J. ビーティー	社会人類学	A 5	1,400	社会思想社
★R. ベネディクト	定訳 菊 と 刀	B 6	680	社会思想社
E. A. ウェスターマ ーク	人類婚姻史	A 5	1,600	社会思想社
★B. マリノウスキー *ほか	婚 烟	B 6	800	社会思想社
★B. マリノウスキー	未開社会における性と抑圧	B 6	1,000	社会思想社
★藤 岡 喜 愛編	対談 人間を考えるⅠ・Ⅱ	B 6	各850	社会思想社
*R. ベネディクト	文 化 の 型	В 6	1,500	社会思想社
石田英一郎・泉 靖一 曾野寿彦・寺田和夫	人 類 学	A 5	580	東大出版会
レヴィ=ストロース	構 造 人 類 学	A 5	2,500	みすず書房
★エドワード・ホール	かくれた次元	4 6	1,000	みすず書房
レヴィ゠ストロース	人 種 と 歴 史	4 6	600	みすず書房
★蒲 生 正 男編 ★祖 父 江 孝 男編	有 斐閣 双書 文化人類学	В 6	550	有 斐 閣
伍义伍华为	文 化 八 城 子			
〔民俗学〕				
社 会 思 想 社編	- 1.1 2.15.17			
	日本生活歳時記	B 6	1,000	社会思想社
社 会 思 想 社編	日本生 活	B 6 B 6	1,000 1,000	社会思想社 社会思想社
社 会 思 想 社編 中 田 幸 平			,	
	東京生活歳時記	В 6	1,000	社会思想社
中田幸平	東京生活歳時記 日本の児童遊戯	B 6 B 6	1,000 1,000	社会思想社 社会思想社
中田幸平尾原昭夫	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳田国男研究 柳田国男回想	B 6 B 6 B 6	1,000 1,000 1,200	社会思想社 社会思想社 社会思想社
中 田 幸 平 尾 原 昭 夫 神 島 二 郎編	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳 田 国 男 研 究	B 6 B 6 B 6 4 6	1,000 1,000 1,200 1,200	社会思想社社会思想社社会思想社社会思想社策 摩書房
中 田 幸 平 尾 原 昭 夫 神 島 二 郎編 臼 井 吉 見編	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳田国男研究 柳田国男回想 (筑摩叢書26)	B 6 B 6 B 6 4 6 4 6	1,000 1,000 1,200 1,200 950	社会思想社社会思想社社会思想社社会思想社筑摩書房
中 田 幸 平 尾 原 昭 夫 神 島 二 郎編 臼 井 吉 見編 大 藤 時 彦編	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳田国男研究 柳田国男回想 (領摩叢書26) 柳田国男対談集 (筑摩叢書46)	B 6 B 6 B 6 4 6 4 6	1,000 1,000 1,200 1,200 950 750	社会思想社社会思想社社会思想社社会思想社筑摩書房 策摩書房
中 田 幸 平 夫 申 平 夫 申 原 申	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳田国男研究 柳田国男回想 (筑摩叢書26) 柳田国男対談集 (筑摩叢書46) 民俗学について第二柳田国男対談集 新装版	B 6 B 6 4 6 4 6 4 6 4 6	1,000 1,000 1,200 1,200 950 750 600	社会思想社社会思想社社会思想社社会思想者 第 摩 書 書 第 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万
中尾神臼大大柳	東京生活歳時記 日本の児童遊戯 日本のわらべうた 柳田国男研究 柳田国男回想 (筑摩叢書26) 柳田国男対談集 (筑摩叢書46) 民俗学について第二柳田国男対談集 新装版 定本柳田国男集全36冊 (筑摩叢書79)	B 6 B 6 B 6 4 6 4 6 4 6 4 6	1,000 1,000 1,200 1,200 950 750 600 各1,300	社会思想社社 筑筑筑 筑 筑 策 摩摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩 摩

哲 学·思 想

復刻版

唯物論研究〔7巻〕唯物論研究復刻刊行会編 唯物論研究会機関誌戦前版の27号~30号を収録。 A5判 700頁 ¥7,000 [青木書店]

出隆著作集8巻

出隆自伝(続) 出降著

滝川事件、二・二六事件から太平洋戦争へと動く 激動期のなかで著者はいかに生きたか。 四六判 650頁 ¥2,500 [勁草書房]

現代教育学概論 中沢次郎・櫛田 磐共著

おのおのの専門分野を共同執筆し、幅ひろい領域をハンディに編集した教育学の入門書である。 A 5 判 208頁 ¥1,500 [誠信書房]

哲学の三つの伝統 野田又夫著

哲学の三つの源泉であるギリシア,中国,インドと日本の代表的哲学者についての論考を集大成。四六判 268頁 ¥1,200 [筑摩書房]

高橋里美全集2巻

認識の問題
三宅剛一・木場深定編
野辺地東洋

認識に関する論文を収録。理論的認識論の限界を示すと共に、美学などが学たり得る基盤を明かす A 5 判 296頁 ¥2,700 [福村出版]

高橋里美全集7巻

小品・随想・その他 野辺地東洋

他の巻に収録できなかった講演, 哲学的随想の類いを収める。初めて活字化されるものも多数収録 A5判 336頁 ¥2,700 [福村出版]

フォイエルバッハ全集8巻

ピェール・ベール 船山信一訳

理性と信仰の矛盾から懐疑に徹した哲学者ピェール・ベールの思想を明らかにする(本邦初訳)。 A5判 340頁 ¥3,000 [福村出版]

フォイエルバッハ全集16巻

死と不死 船山信一訳

フォイエルバッハが生涯をかけてとりくんだ哲学 命題"死および不死"に関する論攷を収める。 A5判 448頁 ¥3,500 [福村出版] カント全集9巻

宗教論 カント著

原著名『たんなる理性の限界内における宗教』は カントの宗教思想を知る上で重要な著作である。 A5判 442頁 ¥2,500 [理想社]

ギリシアの哲学者たち ガスリー

本書は単に著名な哲学者の思想を年代順に叙述するのではなく、ギリシア哲学の特質を探求する。 B6判 248頁 ¥1,200 [理想社]

思索の事柄へ M. ハイデッガー著 辻村公一他訳

「有と時」から存在思索の不断の深化の道をたどるハイデッガーの到達点。本邦初訳。 菊判 228頁 ¥2,200 (筑摩書房)

識座現代日本資本主義 4巻

イデオロギー 島田 豊編

現代日本のイデオロギー状況を総合的に分析,解 剖し,70年代における政治革新の課題を究明。 四六判 356頁 ¥1,200 [青木書店]

マックス・ウェーバー 青年時代の手紙(上・下)

マリアンネ・ウェーバー編 阿閉吉男・佐藤自郎訳

近親縁者あての手紙を収め、青年ウェーバーの人間像、世界観、思想形成過程を照射する必読文献四六判 上250・下220頁 各¥1,000 〔勁草書房〕

古典文庫49巻

義務について ^{キケロ著} _{角南一郎訳}

古代ローマにおける共和政体護持者であったキケロの実践的教訓に満ちた哲学述作中最大の重要作B6判 260頁 ¥1,000 〔現代思潮社〕

マルクスの人間観 柳田謙十郎著

マルクスの生涯を素描し、その根底にあるヒューマニズムの形成を通し、その人間観を追明する。 B6判 268頁 ¥1,200 [青木書店]

歴史と哲学との対話 小松茂夫著

現代日本の思想的貧困の因を探り, 史的唯物論の 有効性を検討し, 歴史哲学の構築の急務を説く。 四六判 340頁 ¥940 [平凡社]

ドキュメント現代史6巻

人民戦線 竹内良知編

フランス人民戦線の歴史を克明に追い, "社会主義"の実験が現代に残した遺産を探る。 四六判 380頁 ¥750 [平凡社]

学習権の論理 佐藤忠男著

学ぶ者の自由を無視した今日の学校教育を批判し 学習権の発想に立ち、学習者本位の教育を説く。 四六判 270頁 ¥700 [平凡社]

ドキュメント現代史9巻

中国革命 野村浩一編

帝国主義の侵略、封建主義の重圧下の中国が如何 に革命を遂行したか。中国共産党の路線を追求。 四六判 400頁 ¥750

宗教との対話 福田定良著

宗教的人間のことばを俗人のことばにひきもどし 世俗の人生における宗教のあり方を描き出す。 四六判 302頁 ¥980 (法政大学出版局)

反科学論 柴谷篤弘著

科学とは何か、研究とは何かという問いかけに対 する自然科学者の側からする一つの回答である。 四六判 320百 ¥1,400 「みすず書房」

第二版 天皇制国家の支配原理 藤田省三著 旧版より書評を削り、「天皇制のファシズム化と その論理構造」を新たに収録する名著の改訂版。 A 5 判 208百 ¥950 [未来社]

教

宗教学辞典 小口偉一・堀 一郎監修

宗教学百年の歩みここに結実!世界の諸宗教にわ たる比較考察を網羅・宗教研究の一般基準を確立 菊判 840頁 ¥4,800 (東京大学出版会)

叢書・ウニベルシタス

人間と死 エドガール・モラン著 古田幸男訳

人間にとっても自然な出来事である死は同時に最 も文化的なものであり一つの人類学を定義する。 四六判 450頁 ¥1,500 [法政大学出版局]

禅とキリスト教 E. ラサール著 柴田健策訳

キリスト教の神秘思想と禅の悟りとを対比するこ とによって、『瞑想』の実践的意味を解明する。 四六判 256頁 ¥1,200 [春秋社]

講座日蓮5巻

日蓮語録 宮崎英修他著

日蓮の著作と書簡の中から人生と世界と宗教の真 実を明かす金言を抜粋。日蓮の血と涙の結晶! A5判 288頁 ¥1,500 「春秋社」

インド思想と仏教 平川彰他著

インド哲学、仏教学の世界的泰斗中村元博士の東 大教授還曆退官記念論文集。

菊判 808頁 ¥7,500 [春秋社]

道元禅の思想的研究 榑林皓堂編

曹洞宗の開祖道元禅師の思想及びその主著『正法 眼蔵』に関する共同研究の成果。 菊判 608頁 ¥6,000 [春秋社]

死者・牛者 上原専禄著

【日蓮認識への発想と視点】日蓮の思想と行動を死 者と生者の共存・共生の視角から根元的に追求。 B 6 判 440百 ¥1.800 [未来社]

国家権力とキリスト者 飯沼二郎著

著者の60年代の市民運動(ベ平連活動・在日朝鮮 人問題) の記録とキリスト者としての行動の集成 B 6 判 378頁 ¥1,500 [未来社]

玾 4,2

生理心理学入門 R. L. イサクソン他著 平井久他訳

本書は、すべての人を対象に最新の知識をわかり やすく集大成した、わが国初の入門書の決定版。 A5判 350頁 ¥3,000 [誠信書房]

経験の政治学 R.D. レイン著 家・塚本嘉寿訳

人間は単に外面的関係をもっているだけではなく 二人の人間が出会うときの経験的世界による。 [みすず書房] 四六判 208頁 ¥950

世界大学選書49巻

恐怖とストレス 与村護郎他訳

心理学、行動学、生理学、内分泌学の動物実験の データを集大成して、感情の構造を分析する。 四六判 320頁 ¥850 [平凡社]

有斐閣大学双街

児童心理学 藤永 保編

極めて広節囲の領域をもつ児童心理学を完全にカ バーしたすぐれた教科書。心理・教育・保育系向 A 5 判 492頁 ¥1,500 [有斐閣]

有斐閣双書

乳幼児保育論 金田利子著

保育論と発達心理学の統合の上に立って書かれた テキスト。初期教育の講義に絶好の教材である。 B 6 判 214頁 ¥750 「有斐閣」

人間科学業書5巻

R.J.リフトン著終りなき現代史の課題 小野泰博・吉松和哉訳

著者が鋭い眼をもって、深い洞察と豊かなヒュー マニズムに富む本格的な歴史心理学的労作。 A 5 判 434頁 ¥3,200 [誠信書房]

行動病理学シンポジアム 異常行動研究会編 1972年夏、著名な内外の心理学者を交えた国際セ ミナーと講演会で論究した成果をまとめた記録。 A 5 判 214百 ¥3,200 [誠信書房]

衝動病理学 大塚義孝著

深層心理学と遺伝学との出会いの過程に誕生した ソンディの運命分析学を基礎にした総合的入門書 菊判 626頁 ¥10,000 [誠信書房]

行動カウンセリング 選用磨台・中圏次郎部 スキナーの学習理論に基礎を求め、各学校段階に おける相談の実際の進め方と諸技法を詳述した。 A 5 判 700頁 ¥5,800 (誠信書房)

心理学研究法 12 券

臨床診断 村上英治編

臨床における総合的診断を確立する為の基盤と方 法を述べ、診断をこえての治療を方法論に織込む A 5 判 270頁 ¥1,600 [東京大学出版会]

E. ミンコフスキー著中江・潜水・大橋訳 生きられる時間2 生きられる時間・空間を追求していった本書は、 著者の臨床経験にもとづく人間への深い洞察。 A 5 判 330頁 ¥2,400 「みすず書房」

补 会

現代社会学大系10巻

精神・自我・社会 飛歩三千男訳

プラグマチズムを基礎に社会的行動主義心理学を 樹立し、アメリカ社会心理学を築いた古典的名著 四六判 416百 ¥3,000 [青木書店]

教室から法廷へ 一学テ裁判と教師一

兼子 仁・五十川偉臣著 教育への国家干渉を排し、民主的教育を志すもの が、何故に法廷に立たされるのか。教育政策批判 B6判 200頁 ¥900 [勁草書房]

医療と福祉 -現代資本主義と人間

川上 武著 地域医療の強調・システム化推進の役割と意味を 究明し医療の将来像を明示。福祉に問題提起。 四六判 288頁 ¥980 [勁草書房]

小倉金之助著作集3巻

中国・日本の数学 大矢真一・黒田孝郎編 中国面有の数学・日本の数学―和算,それぞれ の発展展開および数学者の特質を世界史的に考察 四六判 358頁 ¥1,500 「勁草書房)

社会学識座16券

社会病理学 岩井弘融編

犯罪、非行、売春等、社会病理現象とよばれる諸 事象をとりあげ、実態、特徴、背景、原因を分析 A 5 判 280頁 ¥1,200 〔東京大学出版会〕

社会学識座18巻

歴史と課題 福武 直編

世界的展開をとげた今日の社会学の状況を欧米諸 国,ソ連,東欧,第三世界の各国等横断的に解明 A5判 300頁 ¥1,200 〔東京大学出版会〕

りぶらりあ選書

ユダヤ人と資本主義 アーブラハム・レオン著 波田筋夫訳 社会経済史的全過程を世界史的に展望し、資本主 義の成立と発展の途上で作為された虚構をあばく 四六判 420頁 ¥1,500 (法政大学出版局)

政治の科学 田口富久治著・編

現代における政治理論の基本的問題を解明し、科 学としての政治学の当面する課題を追究する。 四六判 208頁 ¥900 [青木書店]

りぶらりあ選書

帝国主義の運命 G.W.F.ハルガルテン著 熊谷一夫・酒井晟史編 植民地獲得戦争から軍拡戦争へ進む脅威的な経済 的・技術的勢力を綿密に分析し解明する。 四六判 263頁 ¥980 [法政大学出版局]

東京大学公開講座18券

男と女

文学的に、歴史的に、生物学的に……さまざまの 視点からこの人類永遠のテーマを掘り下げる。 B6判 280頁 ¥900 [東京大学出版会]

連帯の探求 山代 巴著

戦後農村の文化活動に身を寄せ人権を守る思想を 育てるために、地道に歩み続けてきた著者の記録 B 6 判 340頁 ¥1,200 [未来补]

大学の実験 D. リースマン他著 荒木泰子訳

学問とマス教育----質の高い新しい大学を目ざし アメリカの二つの新設大学での実験の物語である B 6 判 378頁 ¥2,000 「みすず書房」

都市病理学講座3巻

本書は、住宅の病理、貧困・歓楽・公害汚染地域 などの病理現象を探り、その根底に深く迫る。 B 6 判 356頁 ¥1,500 [誠信書房]

沖繩民衆運動の伝統 吉原公一郎著

明治以降、現在に至る差別の歴史の中でたどった 沖繩知識人の苦悩と反抗の記録。 四六判 296頁 ¥1,300

[福村出版]

ヤングハズパンド1券

社会福祉と価値 E. ヤングハズバンド著 小島泰子・山崎道子訳

社会福祉実践家の行動原理として内在する社会的 価値について、総合的視点から問題を追求した書 A5判 292頁 ¥1,800 [誠信書房]

愛のおのずから起きるとき 高島 厳著 愛する心の原点を社会福祉の分野に求め、ボラン ティアする心を提唱する。

B 6 判 232頁 ¥1,200

(誠信書展)

講座現代の社会とコミュニケーション1巻

基礎理論 内川芳美・岡部慶三編 竹内郁郎・辻村 明編

"コミュニケーションとは何か"という基本問題 に原理的考察を加え、新たな研究の展望を開く。 A 5 判 270百 ¥1,000 [東京大学出版会]

講座現代の社会とコミュニケーション2巻

情報社会 内川芳美・岡部慶三編 竹内郁郎・辻村 明編

"情報社会"と呼ばれる現代を、我々はいかに生 きるべきか、情報環境と人間のかかわりを追求。 A 5 判 270百 ¥1,000 [東京大学出版会]

講座現代の社会とコミュニケーション5巻

情報と生活 内川芳美・岡部慶三編 竹内郁郎・辻村 明編

日常生活のなかのさまざまな情報活動をとらえ、 個人とコミュニケーションのかかわりあいを探る A5判 270頁 ¥1,000 [東京大学出版会]

アフリカ創世記一殺戮と闘争の人類史

ロパート・アードレー著 徳田喜三郎他訳 殺戮と闘争に血ぬられた人類の起源と歩みを、諸 科の最新の成果と大胆な仮説で描く。 四六判 360頁 ¥1,300 「笹藤書屋]

写直集

_{予具来} タンガニイカ湖畔 ^{伊谷純一郎・西田利貞}著

タンザニアのチンパンジーを追う人類学者のグ ループがトングウエ族の生活を捉えた写真集。 B5判 192頁 ¥3,500 (笛麼專屋)

早川孝太郎全集7巻

農経営と技術 宮本常一・宮田 登編

わが国の農業技術、農業経営の歴史的展開と農家 生活の実態を知る根本資料3篇の紹介と分析研究 A5判 600頁 ¥4,500 [未来社]

> 誙 詥

日本的求道心 古川哲史著

悠久二千年にわたる日本人の真剣な求道心を多年 研究した結晶たる本書こそ現代日本人渇望の良書 四六判 384頁 ¥1,800 [理想社]

吉本隆明全著作集10券

思想論 I 心的現象論序説 III L 春雄編 文学の創造と享受の背後にある人間の心的な世界 の構造の考察から独自の「文学批評」原理を構築

「勁草書房」

四六判 354百 ¥890

高見順全集第十九巻 川端康成·伊藤 整編 平野謙·中村真一郎 昭和四年より三十八年までの、「海外紀行」「国内 紀行|「東京散歩|「随想」等二百余篇を収録。

A 5 判 790頁 ¥5,000

若葉のうた〈増補版〉 金子光晴著

詩歴50年の詩人が初孫の誕生によってうたう珠玉 の詩集。初版に「若葉と夏芽」3編を増補する。 四六判 196頁 ¥1,200

G. K. チェスタトン著作集2巻

人間と永遠 P. ミルワード著

民俗学と神学の成果を踏まえて、古代を中心に論 じた西洋文明への全く新たな視点からの人間史。 四六判 416百 ¥1,500

精神の共和国は可能か 武田泰淳対談集

仏教とニヒリズム、生と死、戦争と狂気など現代 における精神の諸相を味わい深く語る対談11篇。 四六判 266頁 ¥980

パリだより 森 有正著

長年パリに学ぶ著者が、経験や交友などを語る随 想に、戦後間もなく渡仏したころの文章を収録。 四六判 202百 ¥900 [筑麼書房]

辺界の悪所 広末 保著

近世庶民の美意識が形成した独自の広場たる悪所 = 鄭や芝居小屋に近世都市文化の源泉を探る。 四六判 260百 ¥720 [平凡社]

木下杢太郎 杉山二郎著

木下本太郎=太田正雄の多岐にわたる活動を、近 代日本の精神史として考察。初の本格的評伝。 四六判 340百 ¥960 [平凡社]

近代日本文学評論史 土方定一著

浪漫主義を経て自然主義に至る明治文学の潮流を その基礎をなす美学の側面から体系づける。 四六判 368頁 ¥1,800 [法政大学出版局]

誤用の文法 アンリ・フレエ著

われわれの言語使用の状態をみて誤用のなかに一 つの法則を把握した画期的な試みである。 A5判 220頁 ¥2,500 [みすず書房]

透明と障害 J. スタロバンスキー著

ルソーの文学的営為のなかから、厳密な作品の読解を通して、みごとなルソー像を構築する。 四六判 450頁 ¥2,500 [みすず書房]

クレーの絵画 M. フッグラー著 土肥美夫訳

色彩とフォルムの魔術師クレーの人格,造形思考作品のモティーフを克明に辿り,全貌を明かす。 A5判 294頁 ¥3,500 (紀伊國屋書店)

大島渚の世界 佐藤忠男著

大島渚の全作品を論じ、いかに反抗者たりうるか を問うその仕事の意味を定着した書下し評論。 四六判 338頁 ¥980 [筑摩書房]

叢書 • 日本文学史研究

日本芸能史論考 松田 修著

流浪・賤民が芸能の世界で生みだしてきた「まねび」の系譜をたどり日本芸能の構造を追求する。四六判 298頁 ¥1,500 「法政大学出版局」

システムの形成

スタニスラフスキイ D. マガルシャック著

近代劇の確立を決定的に告知したスタニスラフス キイの生涯と芸術の形成過程を描く古典的名著。 B6判 618頁 ¥2,500 〔未来社〕

現代ロシヤ抵抗文集8巻

わたしの供述 A. マルチェンコ著 梶浦智吉訳

若き労働者が自ら体験したブレジネフ治下のラーゲリの実態を描き、現情況を国の内外に問う!四六判 336頁 ¥1,900 [勁草書房]

滲むヌヴェラージュ

心理学とマルクス主義

J.ピアジェ/P.リフール他著字波 彰訳 現在の細分化する学問に統一的視座を与えようと する試み。各分野からの多様なアプローチを収む 四六判 264頁 ¥1,200 「福村田版」

みちのく文化論 森嘉兵衛著

平泉と北上川を中心とする金銅鉄の文化,安藤昌 益らの思想と業績等,みちのく文化の様相を追求 四六判 400頁 ¥1,200 (法政大学出版局)

人間性喪失の社会 フリートマン著

気のきいた共通分母に還元しえない複雑をきわめ る現代社会に人間性を復権しうる条件を問う。 B 6 判 182頁 ¥400 [理想社]

東洋医学をさぐる 大塚恭男編

漢方薬はどのようにきくのか。世界的に高まって きた東洋医学への関心に積極的にこたえる論集。 B 6 判 450頁 ¥1,500 [日本評論社]

歴 史

復刻版

歴史学研究2巻 歴史学研究会編

歴史学研究会機関誌戦前版 9 号~14号を収録。 A 5 判 700頁 ¥7,000 〔青木書店〕

歴史学研究総目録 歴史学研究会編

創刊号より400号までの総目次,月報総目録,執 筆者索引,大会記録を収録。研究者必携資料。 B6判 190頁 ¥1,000 [青木春店]

現代教養文庫151卷

新版歴史の見かた 和歌森太郎著

日本史の権威が"歴史をどうとらえるか"の問い に答えつつ,人間の生き方をとく。 A6判 288頁 ¥280 〔社会思想社〕

服部之総全集7巻

開 国 奈良本辰也編

明治維新期開国前後の数々のエピソードを生き生 きとした筆で描く魅力あるエッセイの数々。 四六判 240頁 ¥1,300 [福村出版]

服部之総全集9巻

初代長瀬富郎伝 奈良本辰也編

現在の花王石鹼を創設した初代長瀬富郎の伝記を 当時の社会状勢を鋭く分析しつつ描き出す。 四六判 360頁 ¥1,500 [福村出版]

服部之総全集10巻

絶対主義の史的展開 奈良本辰也編

明治期における農民運動ならびにそれから派生す る絶対主義の問題を解明しようとする。 四六判 388頁 ¥1,800 [福村出版]

ギリシア神話(上・下) ロバート・グレーヴス著 高杉一郎訳 詩人らしい新鮮犀利な解釈と楽しい語り口で今や

詩人らしい新鮮犀利な解釈と楽しい語り口で今や 《古典》の地位を占めるグレーヴスの名著の完訳 A5判 上334・下346頁 各至2,800

[紀伊國屋書店]

現代教養文庫805卷

世界最古の物語 H. ガスター著

四千年も前に古代オリエントの民衆によって粘土 板上に書かれた物語を復元したもの。13篇収録。 A6判 336頁 ¥320 〔社会思想社〕

太平洋戦争史6巻 歴史学研究会編

満州事変にはじまる太平洋戦争史の全体像を総合的に解明した通史の完結編。

四六判 394頁 ¥1,000

〔青木書店〕

日本古代国家成立史論 吉田 品著

国造を中心とする郡衙(評衙)等地方支配の実態 を解明し、日本古代国家成立の全体像を明示。 A5判 430頁 ¥2,800 [東京大学出版会]

現代史资料23巻

国家主義運動Ⅲ 高橋正衛編

右翼の一大目的であった国家総動員体制と対外戦 争がともに現実となった36~45年の資料を収む。 A 5 判 750頁 ¥650 「みすず書房」

現代史資料40巻

マス・メディア統制Ⅰ

大正末年から敗戦まで、マス・メディア統制の法 体系、統制機構、統制の実態を具体的に示す資料 A5判 700頁 ¥6,000 「みすず書房」

第11期24巻

日本随筆大成 2,3,4 日本随筆大成編集部編 広汎多彩な江戸時代学芸の宝庫。小説よりも奇な る随筆の醍醐味, 最新研究の解題付毎月2冊配本 四六判 平均450頁 各¥1,800 [吉川弘文館]

西域の虎―平安朝比較文学論集

研究篇は国文学と海外文学の比較文学的考察を行 ない、訪書篇は敦煌研究の資料訪書紀行文で飾る 四六判 392頁 ¥2,000 (吉川弘文館)

新稿日本女性史 宮城栄昌・大井ミノブ編著

明治天皇紀第九

古代から現代まで各時代の女性の実態を正確な史 料により科学的に明解に書き下した女性通史。 四六判 320頁 ¥1,300 [吉川弘文館]

宮内省臨時帝室編修局

自明治29年至同33年、隈板内閣の成立と崩壊から 北清事変の勃発まで波瀾の東洋政局の動向を叙す 菊判 954頁 ¥4,800 [吉川弘文館]

史学 対外関係と政治文化

森克已博士古稀記念会編 (¥6,600) 政治文化近世・近代編(¥5,500) の 三部作 A 5 判 [吉川弘文館]

日本者古学・古代史論集

伊東信雄教授還曆記念会編 老古学・文献史学の両面からの諸論考は現時点で の到達点と今後の方向を示す古代史研究者必読書 A 5 判 376頁 ¥3,000 [吉川弘文館]

日本古代・中世史の地方的展開

豊田武教授環暦記念会編 豊田博士の門下生・知友による政治社会文化の諸 問題にわたる多彩な実証的研究を集めた論文集。 [吉川弘文館] A5判 486頁 ¥4,300

日本近世史の地方的展開

豊田武教授還曆記念会編 古代・中世史と近世・近代史の2冊とも各時代の 主要テーマについてその地方的展開にも論及する A 5 判 578頁 ¥4,800 [吉川弘文館]

スペインにおける戦争と革命2巻

ドロレス・イバルリ著 藤江 一他訳

今日の統一戦線運動に貴重な教訓をのこした30年 代スペインの人民戦線とファシズムの闘争史。 四六判 348頁 ¥1,500 [青木書店]

フランス文学理論史

フィリップ・ヴァン・チーゲム著

フランス文学史上の様々の流派の理論の形成・発 展を有機的に位置づける。

A 5 判 392頁 ¥2,400

[紀伊國屋書店]

現代におけるイスラム W.C.スミス著

現代史における回教国家の独特の発想と行動の根 源をイスラムに遡って把握する総合的研究の白眉 [紀伊國屋書店] A 5 判 448頁 ¥3,200

中国共產党史資料集9

日本国際問題研究所中国部会編 本巻は、1937年10月から1939年8月までの時期で 六中全会を中心に重要資料編を収録。 A 5 判 760頁 ¥5,000 「勁草書房]

教養選書

川口な維著

フランス革命史 本田嘉代治著

革命反革命を経て反動の勝利に至る経過を忠実に たどり民主主義にとって学ぶべきものを追求する 四六判 308頁 ¥950 [法政大学出版局]

叢書・ウニベルシタス

国家の起源 ロバート・H・ローウィ著

結社の国家形成力を重視する立場を簡潔に提示し 影響力甚大なアメリカ文化人類学の古典。 四六判 202百 ¥850 [法政大学出版局]

G. M. ト**レ**ヴェリアン著 大野真弓訳 イギリス史1

最古の時代より、諸民族の融合のなかから豊かな 国民的感情と独特の諸制度が醸成される姿を描く A5判 300頁 ¥2,300 [みすず書房]

エドマンド・バーク著作集2巻

アメリカ論・ブリストル演説 中野好之訳 アメリカ独立戦争のさなかに、バークは植民地へ の武力弾圧政策の非を説く。アメリカ論その他。 四六判 350頁 ¥2,000 [みすず書房]

服部英太郎著作集VII券

ドイツ社会運動史 大友福夫:氏原正治郎_編 高橋 洗: 服部文男

ドイツ社会民主主義の成立と発展、国独資段階におけるドイツ社会運動、国民社会主義運動を収録 A5判 350頁 予¥3,000 (未来社)

日本庭園史大系22巻

江戸初期の庭(九) 重森三玲・重森完途著

藪内宗家,松花堂,裏千家,西田氏玉泉園,衆楽 園,居初氏,西翁院,中田氏,後藤氏ほか10庭園 A4判 344頁 ¥6,800 【社会思想社】

現代教養文庫802巻

日本音楽史 服部齡太郎著

上古の昔から幾百年も生きつづけてきた、われわれの貴重な遺産、伝統音楽をみなおすための手引。 A 6 判 360頁 ¥360 (社会思想社)

福村叢書

社会倫理 小野季次朗著

人が人間たり得る規準を、個々人の倫理とは別個 の社会倫理を想定することにより明かそうとする B 6 判 216頁 ¥1,000 (福村出版)

教養選書

日本美の探求・北川株雄著

我国の造形文化形態と精神の両面から分析,その 特性と意義を考察する。 四六判 270頁 ¥950 〔法政大学出版局〕

ものと人間の文化史

海藻 宮下 章著

多彩な利用と交流の変遷を採取法流通史伝承神事などの全面にわたってふりかえりその足跡を辿る四六判 340頁 ¥1,200 「法政大学出版局」

ものと人間の文化史

竹 室井 綽著

食生活・建築・民芸神話・伝説・信仰等に特異な 位置をしめる竹の生態と文化形態を集成する。 四六判 320頁 ¥980 〔法政大学出版局〕

ある女の回想決算のとき(上・下)

シモーヌ・ド・ボーヴォワール著 朝吹三吉・二宮フサ訳

『娘時代』『女ざかり』『或る戦後』に続くボーヴォワールの自叙伝。多様な人生の歩みを決算。 四六判 上・下各 260 頁 各 ¥980

[紀伊國屋書店]

人間解放の人びと

レーニン C. バックマン著 山内 昶訳

レーニンの思想的継承者を,毛沢東とその理論に 求める特色あるレーニン伝。恰好の思想入門書。 四六判 180頁 ¥900 [福村出版]

ジュリアン・ハックスリー自伝Ⅱ

太田芳三郎訳

H・G・ウェルズとの共著「生命の科学」の編集 アフリカ・アメリカ・ロシアへの旅などを描く。 四六判 324頁 ¥1,800 (みすず書房)

=== S. D. ボーヴォワール ==

決算のとき

<上・下>

オワー の人生・ じみ深い と『娘時 の産 五の 月 危機や女の旅行 保い語り気時代』 著作 降今 の本 た か 旅 自 .H る訳 自 n か 行、 中 活 動 白 以 八伝 ボ Ē 性解 ō わ 〇円 交流 新 来か 至 で ŋ 後 ΪĤ

紀伊國屋書店 東京新宿3-17-7 振替東京125575

J・ピアジェ/P・リクー ル他著 宇波

社会史と医

学史の相互作用を初め

ロマン

ロスド

ル スキー

、時永淑他訳

ろげられるシンポジウム・論文を収結合という問題設定のもとに繰りひ精神分析、心理学とマルクス主義の

東京都文京区本郷4-23-9/振替口座東京 78313番

R・H・シュライオック著/大城功駅

従来の医学史は、医学技術と思想

的な医学史を目ざす。類書のない 環境との相互作用に注目し、 医学とその時代の社会的、 の発達がテーマであった。本書は、 3、500円 文化的

東京麹町局区内・振替東京29639

福村出版

とする試みであり、

ジャック・ラカ

学問と思想に統一的視点を与えよう

現在の細分化された

録した本書は、

する上でも欠かすことができない

〔叢書ヌヴェラージュ

アルチュセールらの思想を理解

内川芳美・岡部慶三・竹内郁郎・辻村明

1 2 全5巻完結 情報社会 基礎理論 言論の自由 かかわりあいを解きあかす人とひと・人と社会の 4 情報と政治 5 情報と生活

権

力と人

間

・永井陽之助訳。

600

3

A5・各価一〇〇〇円

東京新宿新小川町東京創元社

抑

圧

ح

自

由

石川 湧訳

イデオロギーの終焉

岡田直之訳

750 550 組織のなかの人間

- 岡部慶三他

各700 700

自由からの逃走

日髙六郎訳

現代社会科学叢書

既刊27

点 白録呈

東京港区南縣布二 法政大学出版

りぶらりあ 含む『経済学批判要綱』の検討な円熟期マルクスの哲学的諸見解を 道程をつぶさに跡づけた本書は、じて『資本論』成立に至る理論的 しにマルクスを語ることはできな 国際的定評を得た基本文献である い。『要綱』そのものの研究を通 選書/⑴~ 3九八〇円/41二〇〇円

東京新宿須賀町/振替東京16 日本評論

代表的論文を集大成した好参考文献。 方・薬学・医学・哲学などの第一線 異常な高まりをみせている。本書は漢

実践家たちの東洋医学に関する

うに、東洋医学に対する一般の関心は

ハリ麻酔が世界の注目をあびているよ

大塚恭男編

五〇〇円

偉大な教育者の 諭 生涯を正 会田倉吉 予価八〇〇円 確に描

.伊津<mark>河大新</mark> 沢田上重 修梅 隆子 宝子 帆足万里 加藤弘之 上沼 中村 渡辺 帆足図南次著 谷 畑 崎 八郎 孝子 悦 尚 治 忍著 美 実著 三五〇円 三五〇円 七00円 五五〇円 七五〇円 七00円 七00E 弘

113. 東京都文京区本郷7丁目2-8

橋昌郎著

三七〇田

テイ 愛

I

ル

۲

.

シャ

ル

ダン

山代

巴著

東京都新宿区赤城下町46 振替東京78303

理想社

A5上製

五六六頁(口絵|三〇頁

真

著

作

集

第四

卷

眼

批評の関係

ンダールア 既刊活 ル研究 B6上制 きた眼大浜甫訳 B6上製 B6上製 二二〇〇円 ルソー、 一八〇〇円 スタ

J·スタロバンスキー

五 余録 一 綜合的生活体系としての茶道 二 茶道蔵 二 茶道蔵 正 日本茶道の成立 日本茶道の成立

価三五〇〇H

②現代の ①ソビエ

ソビエト教育学 ト教育学の展開

調佳智雄訳

4国民教育学 ③新教育への批判・日本教育の危機

6 ⑤民主教育の マ ル クス主義教育学の探求 理

東京神田神保町 ノ六〇 青木書店

また、大きな影響力をいまなおもっている

書ともなろう。初々しい目ざめにむ

立ちつつある若

い人々へのおくりも

思想家テイヤー

ルの世界への、

最良の入門

かって

かけるこの小さな、

魅力に溢れる書物は

間

〈愛〉について、

意

味深く新鮮に語り

人間の男性と女性の

秘的なものである。 も普遍的で、

もっとも強力で、

もっとも神

一愛は宇宙のエネルギー山崎庸一郎訴

のうちで、 B 6 判

九〇〇円 もっと

民話を生む人びと

[崎庸一郎訳

東京都文京区本郷3-

17

みすず書房

に歩みつ を寄せ、 を生む人びと/苦難の時期をささ 連帯の探求(書下し80枚 クな実践の記録。 本書は、 B 6 |歩みつづけてきた著者のユニー| たもの(「武谷文化論」 人権を守る思想を育てる 戦後農村の文化活動に 製力バ 1 【内容】 | ||OOE 解説 / 民話

> 中村 三好行雄・ 吉田凞生編

有斐閣選書 定価九八〇円

近代詩 な詩人 詩に 詩はその 近代詩は難解とい 京 た水準 潜む 神 田 鑑賞し、 44名の代表 0 歩みをたどり 豊か イメージが捉 神 0) 保 高 な世 町 V 詩人の核を明らかれ表的作品を取りし 近代詩 世界を開 われ 有 入門であ ながら、 えられたとき る。 3 本書は らかに か 主要 る

悲 閣

> 昭和49年3月1日発行・年4回発行・第4号 (C) 発行所 人文会 東京大学出版会内 〒 113-91 東京都文京区本郷 7-3-1 私書箱89号